

ひろしまビジネス サポート事例

VOL.21

広島市産業振興センターの支援制度を活用し、成果を上げた企業や製品の事例を紹介します。



	ページ
合同会社Rainbow	創 窓 1
株式会社ミライワーク	創 窓 2
ゆいま〜る整骨院	創 窓 3
大日堂株式会社	窓 助 4
株式会社片岡商店	窓 経 助 5
ラボテック株式会社	窓 助 6
有限会社オオコウ電設	技 依 助 7
株式会社シーメイト	技 依 8

	ページ
アイメディア株式会社	技 依 9
株式会社明光堂	技 依 10
株式会社エムテック	技 設 11
バロ電機工業株式会社	技 依 設 12
株式会社Jewelry伊藤	技 13
社会医療法人千秋会 井野口病院	技 14

凡 例	
創	創業支援
窓	コーディネータによる支援
経	経営支援アドバイザー派遣
窓	窓口相談
助	中小企業支援センターの助成金
技	工業技術センター職員による指導・相談
依	各種材料や工業製品の依頼試験・検査・分析等
設	工業技術センターが保有する設備機器の使用



保護者支援を大切にしている児童発達支援事業所『れいんぼう』



児童発達支援事業所の事業計画の策定支援

合同会社 Rainbow 代表社員 水口 千佳 氏

障害の気づき段階から子どもと家族の気持ちに寄り添い、様々な経験を提供することで「こころ・からだ・まなび」の健やかな成長を目指す児童発達支援事業所「れいんぼう」を運営しています。

0歳から6歳で障害のある、または気になる子どもに対して、スタッフが1対1での早期療育を提供し、毎回保護者と対面で話をします。子どもの発達過程に合わせて、個別や集団での療育を組み合わせ、運動療法や生活スキルなど生活に即した療育を行います。

所在地:広島市安芸区瀬野西2-24-18

TEL 082-516-8703

URL <https://www.rainbow-hiroshima.com/>



相談内容

教育・福祉分野の職場において様々な世代と関わってきた経験を通して、他にはない自身が理想とする療育サービスを提供するため、自宅である一軒家を発達支援事業所として開所する決意をした水口さんでしたが、一緒に働いてくれるスタッフの目途はついていないものの、創業準備や雇用に関する手続きに不安があることから助言を受けたいと相談がありました。

支援内容・成果

創業支援アドバイザー派遣により、雇用の際に必要な手続きに関して順を追って整理するとともに、各種帳簿の整備や届出などについて助言を行いました。

創業チャレンジ・ベンチャー支援事業の事業計画策定支援では、サービス内容を整理するとともに、自身の強みを生かした他者との差別化について検討を行いました。

令和3年度に創業チャレンジ・ベンチャー支援事業の事業認定を受け、令和3年11月に一軒家を改装した児童発達支援事業所「れいんぼう」を開所しました。

開業から3年が経過した現在は、利用をお待ちいただく曜日生じるなど人気の事業所となっています。



「れいんぼう」のロゴ



療育の様子



療育の様子



誰もがいきいきと働く未来社会の実現に貢献する 障害福祉サービス事業



民間企業による職場復帰支援事業の計画策定支援

株式会社ミライワーク 代表取締役 前田 裕生 氏

メンタル不調・ひきこもり・職場復帰に悩んでいる方に対して、年齢・職歴を問わず自立訓練・リワークを提供しています。一人一人の【なりたいミライ】に向けて寄り添いながら支援することを大切にしています。



あなたと働く、
未来をつくる

ミライワーク

所在地: 広島市西区横川町 1-7-9

TEL 082-942-5030

URL <https://miraiwork.co.jp/>

相談内容

メンタルヘルス不調者や障害のある人の増加は現代社会の大きな課題と考えていた前田さんは、多様性を理解し、お互いが認め合い、メンタルヘルス不調や障害の有無にかかわらず、誰もが安心していきいきと生活できる社会作りに貢献するため創業を決意しました。そして創業チャレンジ・ベンチャー支援事業による事業計画策定支援を受けたいと相談がありました。

支援内容・成果

専門家による事業計画策定への助言を通して前田さんご自身の事業への想いを明文化することができました。また、公的機関も含めた競合分析により前田さんの事業の新規性や優位性を明らかにすることができました。

令和3年度の創業チャレンジ・ベンチャー支援事業認定後には、企業向けのリワーク支援事業も開始し、窓口相談において専門家がセミナーの広報について助言しました。

現在は横川町と的場町にリワーク支援センターを設置し、事業の幅を広げつつあります。



横川センター入口



横川センター内観



身体の痛みの根本原因解消に取り組む整骨院

創業計画の策定支援と効果的な情報発信についての助言



ゆいま〜る整骨院 院長 野原 淳 氏

オリジナル四字熟語「笑療快帰〜しょうりょうかいき〜」をコンセプトにした整骨院を開業しました。前職では接骨院・鍼灸院・トレーニングセンターの複合施設(以下、複合施設)で、院長経験も含め15年間勤務した経験を生かし、怪我の治療から運動指導まで幅広く活動しています。

所在地:広島市西区観音本町 1-20-27-1F

TEL 082-576-3149

URL <https://yuima-ruseikotsuin.jp/>



相談内容

複合施設で経験を積む中で痛みの根本原因は患部以外にあることが多いと感じるようになった野原さんは、根本原因を取り去る適切な施術を確立し創業を決意しました。そして、自身の考えを的確に他者に伝えるため、創業チャレンジ・ベンチャー支援事業による事業計画策定支援を受けたいと相談がありました。

支援内容・成果

事業計画策定支援では専門家の助言を受けて、経験や技術力等の野原さん自身が持つ経営資源を整理しました。そして施術と治療器を組み合わせることで身体の痛みの根本原因解消に取り組む、他にはない整骨院を開業する事業計画書を作成しました。

令和2年度の創業チャレンジ・ベンチャー支援事業認定後には、令和3年9月に「ゆいま〜る整骨院」を開業しました。創業後も SNS での情報発信を問い合わせに繋げるためのホームページの動線構築や内容について専門家が助言しました。

現在、整骨院での施術のほか、トレーニング指導(フィジカル・リズム)で幼稚園、中学、高校バスケットボールチームへ赴き、ケガの予防も含め、広く指導しています。また、リズムトレーニングの指導者養成も積極的に行い、県内外に広めるために活動しています。



スポーツチームへの運動指導



腰痛に悩む会社員の治療



イベント活動



土に還るペット用骨壺の開発

助成金の活用や事業者とのマッチングによる付加価値向上の支援



大日堂株式会社

平成9年に創業し、一般顧客を中心に供養のサービスを提供しています。創業時は石材事業のみでしたが、平成12年に霊園事業、平成30年には仏具事業を開始し、現在では葬儀後の供養に関わるサービスをワンストップで提供できる体制を整えています。

所在地:広島市東区温品5-10-48

TEL 082-573-3300

URL <https://dainichido.jp>



相談内容

令和2年の新型コロナウイルス感染症の影響で、葬儀などを始めとした供養の状況が一変し、業績が低下しました。この状況が長く続くと判断したため、新たな収益の柱を模索し、既存事業と親和性の高いペットの供養に着目しました。コンセプトは「土に還るペット用骨壺」とし、開発検討を始めました。

製品開発を具現化するために「と、つくる」を活用してデザイナーを選定し開発を続ける中で、製品開発など事業化において解決すべき課題がみつかり、これらの課題を解決したいと相談がありました。

支援内容・成果

製品開発を進めていくための課題解決に向けて、新成長ビジネス事業化支援事業の活用を提案し、申請に係る支援を行った結果、「生分解性バイオプラスチックでつくる土に還るペット用骨壺」の事業内容で当助成事業に採択されました。これにより事業化を加速できることとなりましたが、試作製造において問題が発生し、開発の継続が困難となりました。

そこで、コーディネータの支援により、実現できる事業者を選定し、マッチングが成立したことで、継続することができました。他にもアクセサリ製造、パッケージ製作、素材提供など4者とのマッチングが成功し製品が完成しました。素材に関しては広島で大量に発生し、環境問題にもなっている牡蠣殻を活用することになり、新たな牡蠣殻の利用方法にも繋がっています。また、権利化についても、特許や商標申請などの必要な支援も行いました。支援を行なった結果、当初よりグレードが高く付加価値のある製品が仕上がりました。現在は販売に向けての準備を進めており、PRおよび販路拡大において継続した支援を行っています。



土に還るペット用骨壺



ジュエリーを活用した
アクセサリ



パッケージ



スクールバッグ製造の老舗による耐久性に優れた 補助バッグの販路拡大



展示会の出展助成やマッチングによる新たな販売先の創出支援

株式会社片岡商店

明治30年、旅行具製造販売会社として創業。戦時体制下による一時的な業務中断の後、昭和22年に旅行かばん・袋物・雨具卸業として事業を再開。昭和36年に現社名に改組し、現在は主にスクールバッグの商品企画・製造・販売・修理などを行っています。

所在地: 広島市中区十日市町1-3-12

TEL 082-231-1459

URL <https://kataoka-shouten.co.jp/>



相談内容

「中学生に3年シゴかれても壊れない」をコンセプトに、広島県内の小中学校を中心にスクールバッグの製造・販売を行っていますが、近年の少子化によるスクールバッグ市場の縮小により、売上高は低下していました。また、スクールバッグの特性上、製造時期の偏り、粗利率の低さ、見込み生産による製品在庫の多さが課題となっており、新たに開発した補助バッグの販路拡大によりこれらの課題を解決したいと相談がありました。

支援内容・成果

販路拡大に向けて、見本市等出展助成事業の活用を提案するとともに、申請に係る支援を行った結果、当助成事業に採択され、「東京インターナショナルギフト・ショー秋 2023」に出展することで、複数の企業との成約を取り付けることができました。

また、コーディネータによるマッチングを通じて、当社製品の特徴である“丈夫さ”を生かした車載用医療収納バッグの開発企業や、サバイバルゲーム向け製品を製造する企業などとの連携も実現しています。

その他、専門家派遣を活用して、作業工房、倉庫などの整理整頓に関するアドバイスをを行うことで、製品在庫の定位置作りなど、現在も改善に向けた取り組みを継続しています。



2023年出品 “さよなら紙袋”



2024年出品 “国産 3way スクールバッグ”



ニ ゲ テ ッ ク

超音波式害獣忌避装置「NIGETEC」の改良



ユーザーのニーズに応えるための製品改良に向けた支援

ラボテック株式会社

平成2年に、水質検査や大気測定、アスベスト検査等の環境分析及び自社で開発した自動分析装置の製造・販売を主な事業として創業。最近では、イオン交換樹脂販売や害獣忌避装置開発など、分析以外の分野への事業参入を積極的に展開しています。

所在地: 広島市佐伯区三宅1-3-26

TEL 082-921-1111

URL <https://www.labotec.co.jp>



相談内容

近年、日本全国でイノシシ、シカ等の害獣被害が頻発している状況のなか、平成27年から超音波を利用した害獣忌避装置を販売していましたが、ユーザーから、防水性能の向上、忌避距離の伸長などの要望があり、その要望に応えるため、新たな機能を追加した新製品を開発することにしました。開発を進めていくに当たっては、さまざまな技術的な課題があり、これらの課題を解決したいと相談がありました。

支援内容・成果

課題解決に向けて、コーディネータが害獣被害情報などの資料提供、イノシシやシカの生態に詳しい大学教授を紹介し意見交換の場を設定するなど、開発を進めるに当たり有益となる情報の提供及び新製品の技術的なアドバイスを行いました。これにより、先代モデルと比較して、ステンレス一体構造による防水性能の向上、赤外線センサーを本体と分離することで感知距離を伸長するなどの改善を図ることができました。

また、新製品の販路拡大に向けて、見本市等出展助成事業を活用することについて提案するとともに、申請に係る支援を行った結果、当事業に採択され、「2023 ジャパンターフショー」に新製品を出展しました。その展示会において、約50件の企業等と商談を行うことで新製品の周知を図るとともに、現在も販売代理店の増加に向けて取り組んでいます。



展示会へ出展した時のブース



超音波式害獣忌避装置 NIGETEC



作業の効率化につながる「キャタグルマ」の開発

1 台3役をこなす万能足場台の実用化を目指して



有限会社オオコウ電設

電気設備工事、空調設備工事等の設備工事業を行っています。その中で、便利で事業効率化につながるオリジナル製品の開発・販売をしています。

所在地:広島市佐伯区五月が丘三丁目 1-33

TEL 082-942-2539

URL <https://ookou-eci.com>



有限会社 オオコウ電設
B&B planning

相談内容

今回、作業現場での作業の効率化を目指した、1 台で脚立、作業台、台車の 3 役をこなす「キャタグルマ」を考案したが、この開発について、指導と助力をしてほしいとの相談がありました。

支援内容・成果

「キャタグルマ」基本構成は、脚立の足場部分にキャスターを取り付けたもので、反転させて台車として使用可能にしたものです。当所からは、足場となる部分にキャスターが存在すると、作業中に車輪に乗ってしまうなどして非常に危険であることや、台車として使用する際の積載荷重 100kgf に対してのキャスターのサイズなどをアドバイスしました。

アドバイスを基に製造した試作品では、キャスターを引き込むよう工夫(特許取得)して、脚立として使用する際に邪魔にならないようになりました。強度については、JIS を参考にした耐荷重試験方法を当所で考案して強度試験を実施し、台車としての目標積載荷重 100kgf に対して、十分な耐荷重であることを確認しました。

現在、「キャタグルマ」は自社ブランドの製品として販売しており、電設等の工事現場のみならず、キャンプや地域活性化イベントなどでも活用され、好評を得ています。また、第 12 回中部ライフガード TEC2024 防災・減災・危機管理展に出展されており、防災グッズとして、避難所等での利用も期待されています。なお、「キャタグルマ」は、第 30 回ひろしまベンチャー育成基金奨励賞(法人)の金賞を受賞しました。また、日経トレンドィ(令和 6 年 12 月号)でも紹介されました。



図 1 試験の様子



図 2 使用用途

救命いかだ用自動離脱装置の開発

国土交通省の型式承認及び HK 検定を取得



株式会社シーメイト

造船用機器製造と輸出入販売を行っています。最適な品質と価格の商品をお客様に提供することで、日本の造船、海運界に貢献することを目指しています。

価値観が多様化する現代において、考える集団として、既存の概念にとらわれることなく「新たな発想」を持ち、あらゆる分野において可能性を追求し、付加価値を提供することで、社会の変化に貢献します。

所在地: 広島市西区中広町一丁目 20-16

TEL 082-235-2351

URL <http://seamate.co.jp>



相談内容

2012 年より外航船向けに販売している自社製品の使い捨て救命いかだ用の自動離脱装置について、内航船向けに販売するためには新たに国土交通省の型式承認の取得及び日本舶用品検定協会 (HK) の検定合格が必要であり、これらに関わる試験実施と製品改善について指導してほしいとの相談がありました。

支援内容・成果

国土交通省の型式認定及び HK 検定取得に必要な強度及び耐久性評価試験について、指定された条件を満たすための精密万能試験機及び疲労試験機を使用した試験方法を提案し、実施しました。製品強度の安全幅を踏まえ、形状変更等についての助言を行い、試作と試験を繰り返し、必要な強度を担保した製品を開発しました。

最終的に、開発した製品は国土交通省の型式承認を取得し、現在では HK 検定に合格した製品が内航船向け使い捨て救命いかだ用自動離脱装置として販売されています。

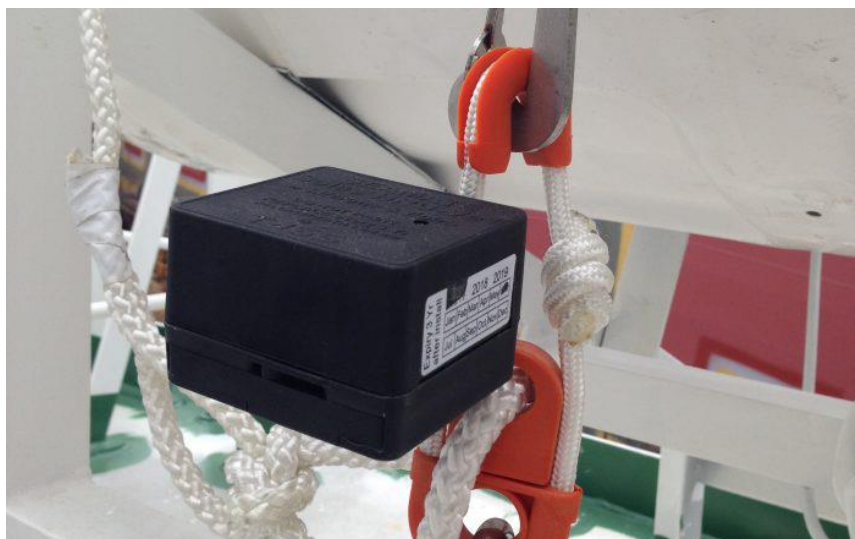


図 1 実装着



図 2 疲労試験の様子

口腔洗浄器ノズル固定爪の改良

実際の使用状況を想定した強度評価



アイメディア株式会社

便利で創造性溢れる生活用品を開発してお客様に提供する、「アイデア生活用品の情報発信基地」の役割を担う会社です。

アイデア商品をメディアのシャワーの様に広範囲に普及させ、便利で豊かな暮らしのお役に立つことを目指しています。

所在地: 広島市東区若草町 12-1

TEL 082-506-1121

URL <http://www.aimedia.co.jp>

相談内容

口腔洗浄器の洗浄ノズルの固定爪が折れるという不具合が発生したため、爪部の強度を向上させるよう形状変更を行った後の固定爪について、機械的強度が改善されたのかを評価したいとの相談がありました。



支援内容・成果

相談内容から、実際の使用状況を想定し、口腔洗浄器(図1)の、ノズル装着部品部分(図3の青丸)について引張試験の方法を提案し、従来部品と対策部品の強度を比較しました。

3種類の形状の固定爪(図2 ① 従来部品、② 対策部品 A、③ 対策部品 B)を用いてノズルを装着した部品部分について、図3に示すように強度試験を実施しました。その結果、対策部品 B によるものが他のものの約1.5倍の強度があり、爪の破損もなかったことが確認できました。

試験結果を基に現在は固定爪を対策部品 B に変更したものが流通しており、不具合発生 of 収束に繋げることができました。



図1 口腔洗浄器

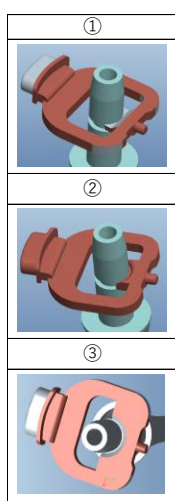


図2 固定爪

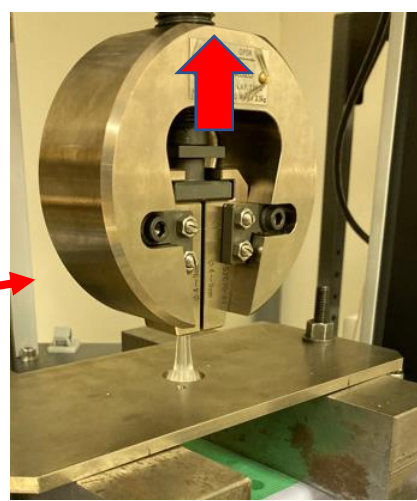


図3 強度試験の状況

ストレートピンに発生したさびの原因究明

耐食性に影響を及ぼすめっき膜厚の調査



株式会社明光堂

ピン・特殊針の製造、線材加工、インサート成形技術などを得意とする 70 年以上の実績を持つメーカーです。

線材加工技術、ヘッダー技術など、製針技術を応用した線材、金属加工製品の開発、自動機械の設計・製作も行っています。

所在地: 広島県安芸郡府中町大須四丁目 1-36

TEL 082-581-2400

URL <https://www.meikodo.co.jp>



相談内容

自社製品であるストレートピン(以下、「ピン」)について、出荷前検査で大量にさびが発生しているロットが発見されたため、この発生原因を調査してほしいとの相談がありました。

支援内容・成果

図 1 は出荷前にさびが発生したピンの写真です。製造後、出荷前検査までの保管中にさびが発生したと考えられますが、このピンは鋼製で Ni めっきが施されているものであり、保管状態はさびが発生しやすい環境ではありませんでした。そのため今回のさびの発生は、膜厚不足や洗浄不足等のめっき不良が原因ではないかと予想しました。

そこで、Ni めっきの膜厚を測定することを考え、ピン表面近傍の断面観察を行いました。

観察結果より、図 2(a)で示すように、さびが多く発生しているピンのめっきの膜厚が、薄くなっていることが確認されました。この結果を基に、膜厚の管理を強化することを薦め、同様の現象が発生した際には原因追跡と対策の実施ができるよう、ロットごとに製造に関する条件等の情報を表示するように改善しました。その結果、さび大量発生トラブル収束に繋げることができました。



図 1 さびが多く発生したピン

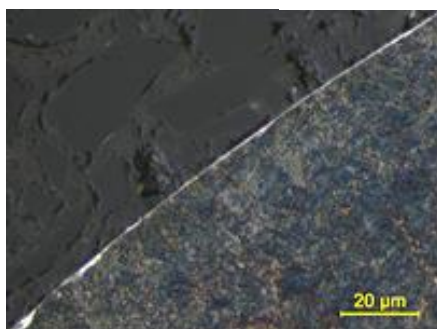


図 2(a) さびが多く発生しているピンの断面観察結果

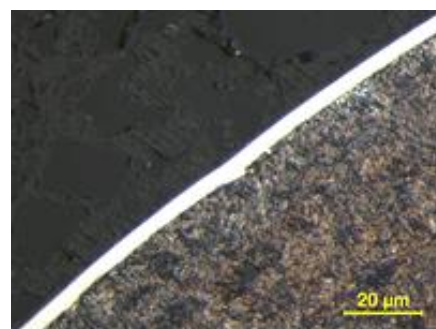


図 2(b) さびが発生していないピンの断面観察結果



深穴の溝部における真円度等の測定

深穴及び穴内径に加工された溝部の真円度・同軸度の測定を行う



株式会社エムテック

自動車、建設機械、農機具、印刷機などの精密部分の機械加工を行っている会社です。

その他にも、鉄道その他一般機械加工や ASSY 部品加工も行っています。

所在地: 広島市安佐北区三入南二丁目 2 番 5 号

TEL 082-818-3310

URL <http://www.mtec-h.com>



相談内容

株式会社エムテックは、機械部品の精密加工を行っており、加工結果を確認するため各種寸法を測定しています。その中の一つに、深穴の内径部に加工された溝と深穴自体の真円度・同軸度の測定を求められている製品があり、自社での測定が困難なため当センターに相談がありました。

支援内容・成果

深穴は、図 1 のとおり内径 18mm から内径 16mm に変位する全長 50mm の 2 段形状の円筒であり、内径 16mm の 1 か所には内径 20mm 深さ 2mm の溝が加工されている形状でした。非常に測定しにくい形状であるうえ、深穴の横には、測定に支障となる突起部があったため、測定機の選定に苦慮しました。

この製品の測定を行うためには、測定子の突き出し部分は、幅 16mm 以下であることが必要であり、2mm という極小の溝の測定には、先端が細く突き出している必要があります。突起部を回避するために、最低でも 100mm 以上の長さがある測定子が必要になります。

形状測定を行える機器として CNC 三次元測定機などの使用も検討しましたが、測定子の条件が合致しないため測定が不可能であり、条件を満たす測定子を装備できるのは図 2 の真円度円柱形状測定機のみであったため、この測定機を用いて測定を行いました。その結果、深穴の真円度及び同軸度の測定を高い精度で行うことができ、加工品質の確認が可能となりました。

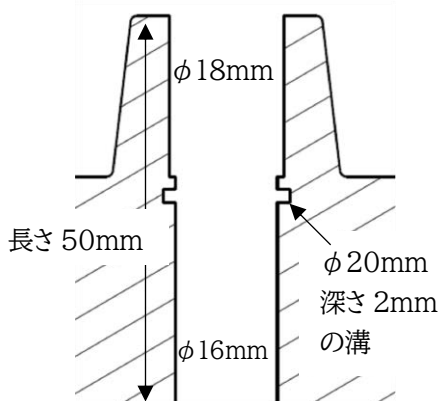


図 1 測定部の断面

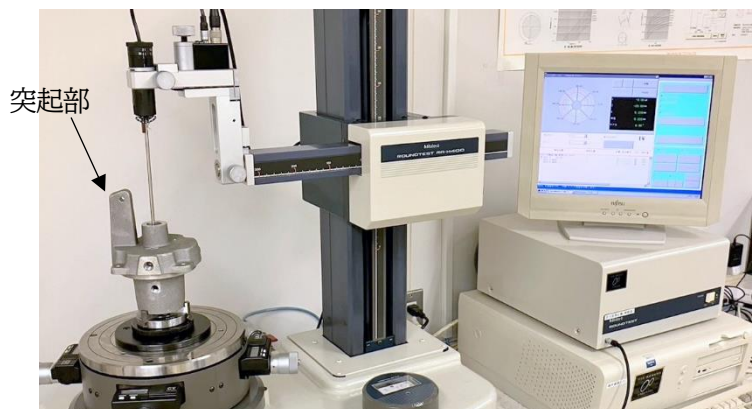


図 2 真円度円柱形状測定機

自動精算機用コイン返却皿の設計と試作

デジタルエンジニアリング技術を活用した製品開発支援



バロ電機工業株式会社

製造業において工程の自動化を行う FA 事業や、製造現場にロボットを導入する際にシステムを構築するロボット SI 事業を行っています。

近年では、ヒアリングから提案、設計、製造、電気工事、据え付け工事までを一貫して行える自社の強みを生かして、工場におけるロボット導入の費用対効果の算出を行う FA 診断も行っています。

所在地: 広島市安佐南区伴中央七丁目 8 番 1 号

TEL 082-849-6677

URL <https://valo-e.com/>



相談内容

自動精算機の使用では、コイン返却皿のコイン取忘れ、コイン返却時におけるコインの飛び出し、コインを掴み取る際のコイン落下が生じる場合があります。

これらをより確実に防止できるようにするため、コイン返却皿の形状変更を行いたいと相談がありました。

支援内容・成果

現行のコイン返却皿の形状を基本とした上で、コインの取忘れ防止、飛び出し防止及び落下防止に対応した設計を新たに行い、三次元 CAD システムを使用して三次元データを作成しました。作成に当たっては、特にコインの飛び出し防止に注力し、形状が異なる4種類のものを作成しました。そのうちの 하나가 図 1 です。

作成した三次元データを基に、インクジェット式三次元造形機で実物大の返却皿の試作を行いました。

自動精算機に試作品を取り付け、コインの取忘れ防止用検知センサーの有効性、コイン返却時の飛び出し状況及び落下防止状況の検証を行い、最も効果のある形状を決定しました。

図 2 が最も効果が高かった形状の試作品です。

現在、今回設計したコイン返却皿が製造され、実際に自動精算機に取り付けられており、利用者の利便性が向上しています。



図 1 三次元データで作成した返却皿の例



図 2 コイン返却皿の試作品



スイーツ店のロゴ、パッケージデザインの リニューアル

商品の付加価値向上のために



株式会社 Jewelry 伊藤

昭和 52 年創業の同社が運営する「ビジュエルパフェ」は、宝石をテーマにした「食べる宝石スイーツ店」です。宝石店を併設しており、ジュエリーに囲まれた非日常の空間を味わうことができます。

所在地:広島市南区東雲 1 丁目 3-22

TEL 082-236-9215

URL <https://bijewell-parfait.com>



相談内容

オリジナル焼き菓子の「プレスパフェサンド」は、宝石を手にしたときの心躍る気持ちをスイーツで届けたいという想いから生まれました。イタリアの職人の手でつくられた世界に一つだけの専用器具を使い、1 月から 12 月までの誕生石をイメージしたクリームを閉じ込め、材料一つ一つにもこだわり抜いた商品です。しかしその商品自体の良さを袋や外箱で伝えきれておらず、その課題解決に向けて相談がありました。

支援内容・成果

課題解決に向けて、デザイナーマッチングサイト「と、つくる」に登録されているデザイナーと協業し、ロゴとパッケージデザインのリニューアルを行いました。ターゲット層や販路を想定し、商品の良さはもちろん店舗の雰囲気や世界観を表現できるデザインになるよう何度も打ち合わせを重ねて完成しました。新しいロゴとパッケージは、クラウドファンディングを活用した新商品ジュエルフィナンシェにも展開され、現在は販路拡大に向けて取り組まれています。



図1 新パッケージのプレスパフェサンド



図2 新パッケージのジュエルフィナンシェ



広報誌のリニューアル

地域の人とつながれる広報誌をめざしたリブランディング



社会医療法人千秋会 井野口病院

昭和52年に井野口外科病院として開院。一般急性期病棟から地域包括ケア病棟、回復期リハビリテーション病棟など地域における多種多様な医療ニーズに対応し、地域密着型の医療を提供しています。

所在地: 東広島市西条土与丸6丁目1番91号

TEL 082-422-3711

URL <https://www.inokuchi.or.jp>



相談内容

井野口病院は、院外向けの広報誌「はつらつ」を年4回発行していましたが、法人内デザイナーの退職をきっかけに休刊となりました。デザイナー不在の中、広報誌の再開に向けて、何から始めたらいいのか悩まれていました。再開に当たり、病院からの一方向的な情報発信の広報だけにとどまらず、地域の人とつながることができる、手に取りやすい広報誌にしたいとの相談がありました。

支援内容・成果

まずは綿密な打ち合わせを行い、現状や課題について技術相談・指導をした上で、デザイナーマッチングサイト「と、つくる」に登録されているデザイナーと協業し、表紙デザインや中面の企画変更といったリブランディングを行いました。リニューアル前には在庫になっていた広報誌ですが、リニューアル後はすべて配布されるようになり、以前より幅広い年齢層の方に手に取ってもらえるようになっています。

全国各地の医療機関が患者さんに病院をより身近に感じてもらうための取り組みを発表する「病院ファンづくり甲子園」で、井野口病院は広報誌「はつらつ」を通じた取り組みの発表を行い、全国第3位を受賞されています。現在も地域の方々に愛される質の高い病院づくりに日々取り組まれています。



図1 広報誌「はつらつ」の表紙



図2 広報誌「はつらつ」の見開き

バックナンバーはこちらからご覧いただけます！

ひろしまビジネスサポート事例 🔍

で検索ください



お問い合わせ先

中小企業支援センター

広島市西区草津新町1-21-35

広島ミクシス・ビル 2F

TEL 082-278-8032



工業技術センター

広島市中区千田町3-8-24

TEL 082-242-4170

